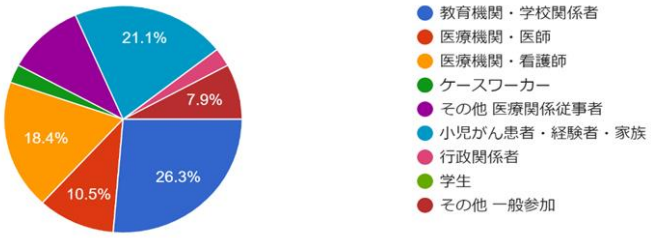
小児がん中央機関　普及啓発・情報提供事業

「小児がん患者のための復学支援を考える」報告書

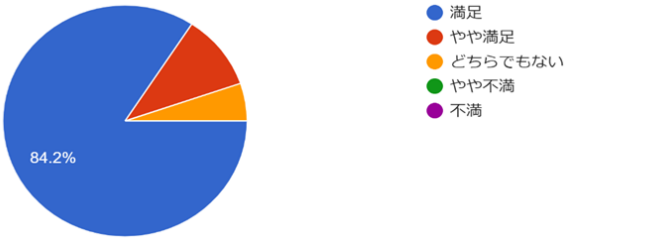
- 開催形式：ハイブリッド開催 (Zoom webinar)
- 開催日時：2024年1月20日(土)　14:00～16:30
- 会場：TKP名古屋駅前カンファレンスセンター
- 対象：小児がん患者・経験者・ご家族、医療関係者、教育関係者等どなたでも
- 参加者数：現地参加：23名、オンライン参加：101名
- 内容
  - ・「みんなと一緒に私も学び続けたい」-高校生の治療と学びの両立-
    （愛知県立杏和高校　特別支援教育コーディネーター　後藤静）
  - ・「復学支援の経験から伝えたいこと」
    （特定非営利活動法人ぷくぷくばるーん　活動代表　大竹由美子）
  - ・「記者から見た復学支援の動向」
    （ジャーナリスト　元中日新聞記者　安藤昭夫）
  - ・復学支援に関する課題についての意見交換

- 事後アンケート（回答数：38）

・回答者属性



・満足度



- 今回のテーマ「復学支援」で印象に残った言葉や考え方
  - ➢ 学びたいという思いに寄り添うことの大切さを改めて考えました
  - ➢ 「みんなとつながって、みんな一緒に」が印象に残りました
  - ➢ 子どもにとっての学校は社会復帰の場所のため、入院当初からニーズに沿って援助していきたいと思った
  - ➢ 今後の課題としては、人と人との繋がり。医療と教育現場双方の連携ができる体制づくり。

- 今後取りあげて欲しいテーマ
  - ➢ 高等部を院内に設けている自治体の取り組み
  - ➢ AYA世代の社会復帰
  - ➢ 就職について
  - ➢ 高校生支援
  - ➢ CLSや心理士、多職種の方々の支援をじっくりお聞きしたい